

WS 開催概要

日時：2016年5月15日（日） 10:00～12:45
場所：とよた参考館 6階多目的ホール
参加者：44名

座長：星野裕司氏（熊本大学大学院 准教授）、大藪善久（NSC）
ファシリテーター：【つくるチーム】
足立真一、馬場睦（NSC） 渡邊篤志（WAO）
熊谷玄、成富文香（stgk） 番場俊宏（abanba）
【つかうチーム】
泉英明、園田聡、岸本しおり（HBP）
運営：豊田市・日建設計シビル（NSC）・ハートビートプラン（HBP）

第1部では、つかうチームの昨年度成果報告とともに、つくるチームの紹介・プロポーザル提案内容の説明を行いました。
第2部では、『とよたらしさ』ってなんだろう？をテーマに、テーブルディスカッション方式にて、とよたの街にどんな場所が必要か議論しました。

【プログラム】

- ①ご挨拶・趣旨説明
- ②あそべるとよたプロジェクト活動報告
- ③駅前空間デザインプロポーザル提案発表
- ④ワークショップ【豊たらしさとは】
- ⑤グループ発表・座長コメント
- ⑥終了のご挨拶

【WSの主な意見】

- ・矢作川や山、美術館などまちの魅力は多くあるが、バラバラとあり連動していない。
- ・豊田の人は少しの距離でも車で移動する文化で、歩く文化があまりない。
- ・また、実際に歩いてみてもまちが歩きにくい構造だと感じる。
- ・裏通りなど駅前ではない場所にポテンシャルがある。【まちの奥行き】
- ・高齢化も問題であり、大人がまちにくるきっかけが必要。知的好奇心を刺激するまちを目指す!?
- ・駐車場3時間無料が車利用を促進しており、無料時間内で帰宅するきっかけになり、人がまちに滞留しなくなっているのでは。
- ・豊田人の気質はまじめで予定外のことはしない傾向にある。
- ・そのため、広場などを使って良いと言われないと使えないのでは。
- ・高校が他のまちより多いところで、高校生が多い。
- ・人口比の男女比は男性が多いまち。
- ・中心市街地という考えはこれまでのまちづくりで何度も出ているが上手くいっていない。駅前を無理に中心にする必要はなく、中心市街地という考えの転換が必要では。

第1部

あそべるとよたプロジェクト成果報告&プロポーザル説明



あそべるとよたプロジェクトの成果報告



プロポーザルの説明



模型を囲みながらプロポーザルの説明

第2部

『豊たらしさとは?』をテーマに6グループに分かれてテーブルディスカッションを実施



全体風景



発表風景1



発表風景2



Group-A



Group-B



Group-C



Group-D



Group-E



Group-F

Group-A



Keywords

- 時代に合わせて変わり続けられるまち
- 魅力ある場所は点在しているものの、位置が離れていたり、バラバラでまち全体で連動できていない。
- まちとして歩きにくい構造になっている。公共交通が充実していない。
- 郊外の大型店舗にない自慢できるお店や通りがあるとよい。
- まちなかに人が集まる場所があるが、その人たちが外に出てくるきっかけが必要。まちに目的をもって来てもらえるキーが必要。

Comments

- 『連動』という言葉は非常に大事なキーワード
- 交通も2種類あって、小さな交通が連動していくことが豊田らしさかも

Group-B



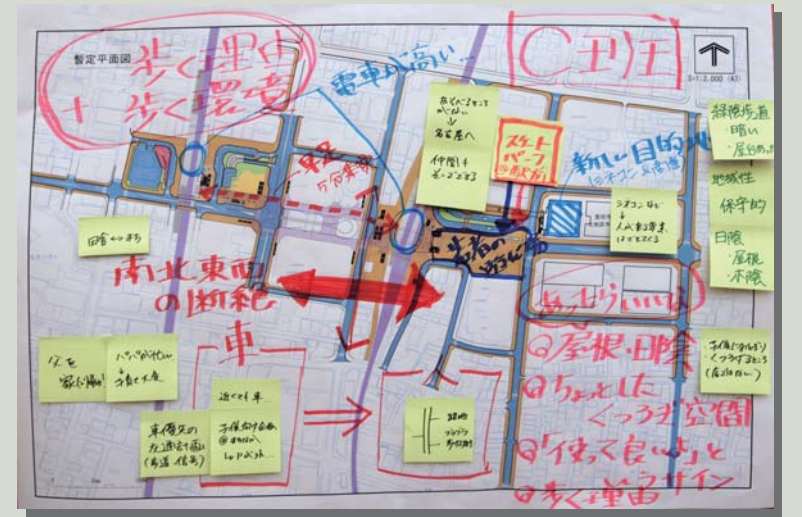
Keywords

- まちの奥行き・裏通り
⇒ 駅前ではない場所にポテンシャルがあり、そこに向かう人の流れを作る必要がある
- 遅れてくる高齢化が問題であり、若者に開かれたまちであるとともに、大人(高齢者)に魅力的なまちである必要がある。
⇒ 一つの方向として、知的好奇心を刺激するまちづくりが必要。例えば面白い本屋。

Comments

- 中心地区はエリアで高齢化率が異なる。エリアの特性も考慮するとよい。
- 大人が昼間過ごせるまちは意外とない。具体的な対象を決めるとよい。

Group-C



Keywords

- 東西が行き来しづらく、南北の緑陰歩道が暗く、まちが繋がっていない。
- 車社会でまちを歩く理由ない、歩く環境になっていない。
- 3時間無料では子供を遊ばせるには時間が足りず、駐車し直している。
- 豊田人はまじめな人が多く、広場を使っていいことがわからない。
- 日陰や屋根、くつろぎ空間があるとよい。
- 昔いたスケボーやBMXをやる若者が名古屋のほうに行って練習するなど見かけなくなっている。この若者たちも賑わいの一つ。

Comments

- 使っていいというサインは豊田人のまじめさを表している。これも豊田らしさなのかもしれない。

Group-D



Keywords

- 豊田人はまじめで優等生气質。予定以外のことはしない傾向があるのでは。
- 自然が近くにあることが利点で、まちづくりに生かすべき。
- 豊田くらいの規模のまちであればエリアごとの色があってもよいのでは。
- 桜城址公園など古くからあるものを大事にしたい。
- トヨタとは切り離せない関係。もっとトヨタを巻き込んだまちづくりもある。
- 駐車場 3時間無料の施策が車利用を促進している可能性もあり、無料時間内に帰宅してしまう現状がある。

Comments

- エリアごとの色のようなものが自然発生的に起こることを目指せるとよい。

Group-E



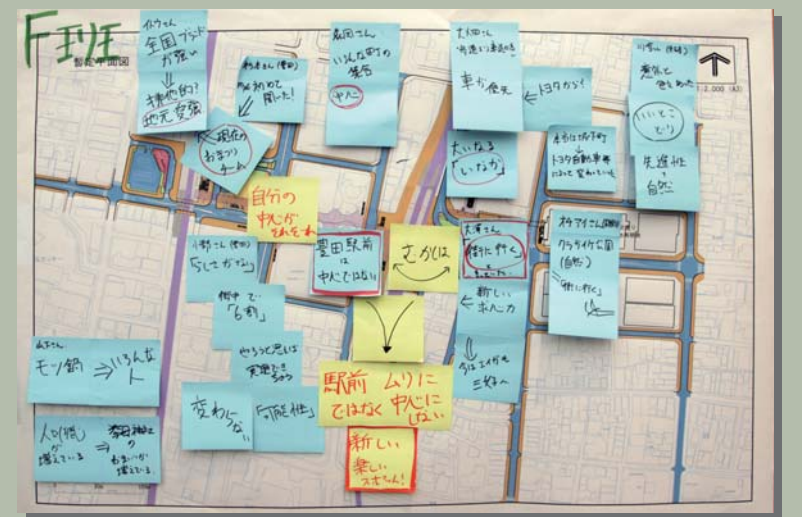
Keywords

- 所蔵書の多い図書館がある。
- モノ、コトだけでなくヒトも大事。
- 他のまちに比べ高校が多く、高校生がたくさんいる。
- 外国人が比較的多い。
- お祭り(挙母祭り、おいでん祭り)がある。
- 人口の男女比は男性の多いまち。
- まちなかの駐車場は満車だけど、それに見合う人がお店の中に入らない。

Comments

- いろいろなキーワードをエリア全体でどのように連携させるか。
- 外国人は初めて出てきたキーワード。まちの多様性をいかにつくるか。

Group-F



Keywords

- トヨタの社員など外から来る人が多く、全国ブランドが強く地元ブランドが弱い。 ⇒ 排他的なまち!?
- 豊田の中心と言いつつ、三好や岡崎、名古屋等に行ってしまう。
- まちの構造として、中心より外に向かう道路の方がしっかりしている。
- 駅前を無理に中心にする必要はなく、中心市街地という考えの転換が必要 ⇒ 人が来る新しく楽しいスポットにする考えの方がよいのでは。

Comments

- 何が中心たらしめるかという視点がある。
- 駅前を場末という意味から考えるとカスタマイズという考えと相性が良い。